

恵比寿通り

(大島七丁目)



東大島駅の近くにある道幅約4メートル、350メートルほど続く通りが恵比寿通りです。

昭和26・7年ごろに商店街として大島恵比寿通り親和会が発足。初代会長の屋号が大黒屋だったことから恵比寿大黒様にあやかって商売繁盛を願い、この名前がつけられたそうです。

当時、この辺り一带は工場地帯で、そこに働く人たちの杜宅も多く、商店街は活気づいていました。ところが、この商店街も工場の移転と大型店の進出、後継者難で次々と店を閉め、商いを続けている店はわずか20軒たらず。

「それでも毎年、九月の第一日曜日の『夏休み恵比寿まつり』は



大きな田舎大島児童館があるぞ!

お肉屋さん

通りも路地も緑がいっぱい

恵比寿通りの由来を教してくれよ。前の会長み

バラの花がきれいな家

MAP

恵比寿通り

東大島駅

大島7丁目公園

戦時下の児童通

町を案内してくれよ。お米屋さん

お米屋さん

東大島神社

夏休み恵比寿手作り緑日、金魚すくいやわね餅などをくさんでるよ。

植木をお持ち下さいの紙

東大島駅

大盛況なんです。手づくりのこども緑日で、狭い通りは親子連れであふれるほどになります。昭和44年からここでお米屋さんをしているという、気のいい大原さん夫妻が通りを案内してくれました。「時代とともに町の形態は変わっても、町内の人たちの結び付きは大切にしたい」とも。

軒先から路地の奥まで、手入れの行き届いた緑や花でつつまれています。町全体がいま人気のガーデニングといった感じです。「植木を自由に持ちください」。通りに面する家の扉に、こんなはり紙もありました。

公園では子どもたちが元気に遊び、人情味豊かな人たちが住んでいる恵比寿通りです。